

若江本線	阿納尻・浜大津	97 km
	小浜・上竹原	1
	東市場・池河内	5
北川線	城内・上中	13
	新平野・本保	5
	井根山・田島	12
琵琶湖線	弘川口・伊部	49
	蛭口・海津	12
	小荒路・路原	4
	西浜・近江今津	10
	賤ヶ岳口・近江山本	7
	西阿閉・高月	3
	木ノ本・菅並	15
	中ノ郷・中河内	16
	田部・土倉	16
	阿弥陀橋・高月	1
敦賀線	塩津北口・敦賀	19
浅井線	近江山本・近江高山	23
	高畑・小室	2
名田莊線	小浜・堀越峠	36
	口名田・桂	2
	中井・谷田部・神田橋	6
	谷口・小屋	8

若江本線	新平野・若狹熊川	昭10・12・20 開業
	小浜・新平野	昭11・6・15
	若狹熊川・近江今津	昭12・12・21
	小浜・甲ヶ崎	昭24・1・30
	小浜・上竹原	"
	東市場・池河内	昭29・1・25
	阿納尻・甲ヶ崎	昭29・6・30
	近江今津・浜大津駅前	昭31・5・1
北川線	城内・上中	昭26・5・5
	新平野・本保	"
	井根山・田島	昭28・8・15
琵琶湖線	弘川口・木ノ本	昭15・8・10
	蛭口・北牧野	"
	木ノ本・土倉	昭24・3・15
	近江今津・西浜	昭27・2・1
	北牧野・海津	"
	田部・伊部	昭27・4・5
	阿弥陀橋・高月	"
	小笠路・路原	昭29・2・11

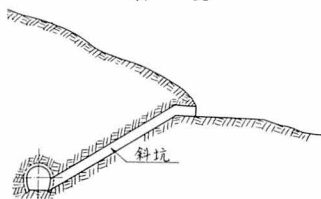
	木ノ本・菅並	昭29・8・20 開業
	賤ヶ岳口・近江山本	昭30・12・13
	西阿閉・高月	"
	中ノ郷・中河内	昭31・11・29
敦賀線	塩津北口・敦賀	昭26・10・8
浅井線	近江山本・近江高山	昭27・4・5
	高畑・小室	昭30・8・5
名田荘線	小浜・納田終	昭19・2・25
	谷口・小屋	昭21・6・1
	納田終・堀越峠	昭26・11・6
	中井・谷田部・神田橋	昭28・10・14
	口名田・桂	昭31・11・29

旅客・手小荷物・貨物および団体貸切の取扱をしている。

小浜線の小浜から江若鉄道で東海道本線大津と、北陸本線木本、名田荘線堀越峠を通り東海道本線京都を結ぶ鉄道短絡路線としての使命を有するほか、観光開発および地方産業文化の発展助長をも使命としている。

冬期は若江本線の若狭熊川付近の保坂峠が雪のため一部運転
 停止をするほか、おおむね通年運転をする。(西山清氏)

通行・換気・排水などを行うために、地表面からある傾斜で地下に卸した坑道。炭坑では卸（おろし）または卸坑道といわれている。（松島 甫）



駅におかれる職で、駅長の指揮をうけて列車組成の準備、客車・貨車・シート・ロープの帳表記録、貨車用付属品の整備等に従事するものである。

列車組成準備の中でも、貨物列車の組成準備業務が大部分であるので、車号掛は貨物操車場、貨物列車の組成駅等、貨車取扱両数の多い駅に配置されている。(加藤誠次郎)

手揚げのもの、肩にかけるもの、首にかけるもの等があるが、もっとも多く使用されているものは、つぎの型式のもので、いずれも 2V の蓄電池を電源とし、2W の電球を使用し、重量も軽く、使用に際し両手を用いないで能率的である。

1 車号灯 H。円筒形で帯金具により、肩に掛けて使用する。
なお帯金具の長さの調節は 2 個の調節穴によって行われる。

2 車号灯 H。角形で牛皮製の負いひもが取付けてあり、長さの調節は自由で首に掛けて使用する。(海野善蔵)

しゃこうろ 社航路 国鉄と連絡運輸を行っている汽船会社経営の航路をいう。社航路に対して国鉄経営の航路を国鉄航路と呼んでいる。(鈴木与吉)

しゃじく 車軸 機関車・電車および客貨車に取付いている車輪の軸をいう。

車軸は走行中繰返し曲げ応力を受けるから、疲れ強さの高い強靱(きょうじん)な鋼であることが必要である。したがって車軸の材質は引張り強さにより 1 種 (SF 55 R)、2 種 (SF 60 R) の 2 種類に大別されている。1 種により作られている車軸は機関車の車軸、電車・気動車の縦軸および客貨車の車軸である。2 種により作られている車軸は電車の動軸および気動車の動